

補足資料

パワーポイント資料を使用する際のポイントを以下に補足いたします。

12P 三大費用の説明

本日のテーマである老後の生活費について 2,000 万円問題と絡めながら説明

13P 支出について検討

ミニマム平均データとして家計調査年報のデータを紹介し、ゆとりのある生活平均データとして生命保険文化センターのデータを紹介する(時間に余裕がある場合には、ゆとりのある生活の費用データにはなにがプラスされているかも話すとよい)

14P 収入について検討

代表的な老後収入である年金について制度概要を説明

15P 資料

自分の年金見込み額を確認する簡易な方法として年金定期便を案内

16P 標準モデル年金

日本における標準モデル年金について説明(時間に余裕がある場合は遺族年金の見込み額についても触れてあげて、当事者意識をもつ人数を増やすとよい)

17P 差額を認識させる

ゆとりのある生活費から標準モデル年金額を差し引いた差額を、65歳以降の生存年数かけた数字が「〇〇〇〇万円不足問題」であることを改めて説明

18P 具体的な数字を求める意識づけ

平均データを知っただけでは意味がないことを伝え、具体的に自分の家庭ではいくらかといった調査が必要であることを説明

20P リスク許容度

投資におけるリスクの定義について説明

21P 金融商品群

大まかな分類を伝える

22P 発想の転換

「もう」〇〇歳ではなく、「まだ」〇〇歳の意識で、残りの人生のため少しでも資産形成の意識をもつことの重要性を説明

23P 心得

リスク許容度と相談しながら現実的な投資手法を検討するよう説明

24P 退職金あるある

盲目的に「銀行からの紹介だから」という理由で用途を決めないことを説明する

28P 人生設計の目的

若年期(収入>支出)にいかに資産形成を検討し、老年期(支出>収入)をクリアできるかが大きな目的であることを説明。人生100年時代の今はセカンドキャリアだけでも30年近く年数があることを伝え、セカンドキャリア設計も同様に必要であることを説明